

# 「上っ子・いーらいふ」

平成29年 6月号  
新富町立上新田小学校 6月28日発行



## 梅干し作り

5月30日（火）に、4年生が先日収穫した天然記念物の座論梅の梅を使った梅干しと梅シロップ漬け作りの活動を行いました。

まず、水につけておいた梅のへた取りです。水につけておいたおかげで案外簡単に取れ、作業がどんどん進み、子ども達も楽しそうでした。次に、キッチンペーパーで梅の水分をしっかりと拭き取りました。水分をきれいに拭き取らないと腐るかもしれないということで、一つ一つ丁寧に作業しました。最後に、塩や氷砂糖と一緒に梅干し用のガラス瓶に入れました。



自分達でとってきた梅を自分達で漬けることで、できあがりを楽しみでわくわくします。地域にある素材を使い、自分達で梅干しなどを作り、そして食べるという活動を通して、子ども達の食に感謝する気持ちや地域を愛する心を育てていきます。

## 7月の予定

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 3日（月）  | 赤ずきん読み聞かせ4～6年 ALT訪問     |
| 4日（火）  | 交通指導（朝） クラブ活動（反省）       |
| 5日（水）  | ふれあい給食5年                |
| 6日（木）  | 委員会活動（反省）               |
| 7日（金）  | 参観日 学校保健委員会             |
| 10日（月） | ALT訪問6年                 |
| 11日（火） | 夏休み図書貸し出し1～3年           |
| 12日（水） | 集金日 夏休み図書貸し出し4～6年       |
| 13日（木） | 小中あいさつ運動 赤ずきん読み聞かせ（昼休み） |
| 14日（金） | 貯金日 プール納会               |
| 17日（月） | 海の日                     |
| 18日（火） | 給食着回収                   |
| 19日（水） | 表彰集会（朝）                 |
| 20日（木） | 終業式（2校時） 給食後下校          |
| 21日（金） | 夏休み 2学期の始業日…8月28日（月）    |



## 参観日のお知らせ 7月7日（金）

|      |      |           |             |
|------|------|-----------|-------------|
| ○ 日程 | 4校時  | 授業参観（全学年） | 13:05～13:50 |
|      | 帰りの会 |           | 14:00～14:15 |
|      | 5校時  | 学校保健委員会   | 14:15～15:00 |
|      | 6校時  | 学級懇談（全学年） | 15:10～15:55 |



## 交通安全教室

6月5日（月）の2～3校時に、梅田学園の方々を講師に迎え、子ども達に安全な道路の横断の仕方を身に付けさせるとともに、交通安全についての意識を高め、交通事故の防止に努めることをねらいとして、交通安全教室を行いました。

2校時は、運動場に交差点や横断歩道を設置し、具体的な場面での学習を行いました。まず、現状（子ども達の現在の横断の仕方）を梅田学園の方々をご覧になり、課題について教えていただきました。その上で、正しい横断の仕方や、自転車に乗っている時の正しい横断の仕方について学びました。3校時は、実際に学校の近くの横断歩道での練習をしました。



今回の交通安全教室を通して、子ども達は、横断前や横断中の左右確認、手の挙げ方、飛び出しをしないこと、車は急に止まれないことなど、たくさんのことを学ぶことができました。今回、学んだことを登下校時や普段の生活の中で必ず生かしていきたいと思います。このような活動を通して、子ども達の「自分の命は自分で守る」という意識をさらに高めていきたいと思います。

## 田植え



6月8日（木）に、5年生の子ども達がイトン田んぼで田植えをしました。イトン田んぼは、子ども達の学習のために地域の方が貸してくださっている田んぼです。

この日は、9名の保護者の方がお手伝いと応援に来てくださいました。保護者の方の説明を聞いた後、子ども達は田んぼの中に入り、せっせと苗を植えていきました。子ども達の感想を紹介します。

○ 僕は2回目の田植えでしたが、やっぱり疲れました。植えるまでの準備をしてくださった方にとっても感謝をしました。僕は、お米を残さず、一粒一粒味わって食べていきたいです。

○ 昔の人達は、僕たちが田植えをした田んぼの何倍もしていたので、疲れていたと思います。みんな、毎日普通に米を食べているけど、この苦勞を知ると、感謝して食べないといけないと思いました。

自分達で田植えから稲刈りまでの米作りの活動や、調理して食べる活動を体験することは、米作りの苦勞を知ることができ、感謝して食べる心を育て、働くことの大変さや意義を知ることにつながります。また、地域や保護者の方に支えられていることを実感することができます。

今回の田植えの準備やお手伝いをしてくださった地域や保護者の皆様、本当にありがとうございました。